

革新懇の三つの共同目標

- ①経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。
- ②憲法を生かし、自由と人権、民主主義が発展する日本をめざします。
- ③日米安保条約をなくし、非同盟・中立の平和な日本をめざします。

# 鳥取県革新懇ニュース

No. **75**  
2022年  
6月10日

〒680-0833 鳥取市末広温泉町211誠ビル3階(鳥取県労連気付)  
TEL0857-21-3171 FAX0857-21-3172

## 平和であることに感謝を



**Maryna Pyrohova**  
**マリーナ ピロゴヴァさん**

結婚を機に7年前から北栄町で暮らしている、ウクライナ出身のマリーナ・ピロゴヴァさん。両親や弟など、家族は首都キーウから南東に400キロほど離れたカーミヤンシケに在住。

ロシアによるウクライナへの侵攻が始まって3ヶ月が過ぎました。ウクライナでは子どもやお年寄りをはじめ、罪のない多くの一般市民が犠牲になっています。今回、ウクライナ出身で7年前から北栄町にお住まいのマリーナ・ピロゴヴァさんに、ウクライナで暮らしておられるご家族や、平和への思いなどについてお話をうかがいました。

(聞き手/長谷川 稔・田中 暁)

### 今日のことだけ 考えて生きるという母

すごく心配です。この三ヶ月ずっと毎日毎日、同じ事を考えて、心配してストレスが多く心が疲れます。気持ちが悪くなりません。私たちは今日の日だけ生活する事しか考えられないのです。お母さんも、一週間後の計画を立てるのはやめたと言っています。明日があるかどうかかわからない

なので、今日のことだけ考えて生きようと言っています。普通の生活ではなく生き残り、サバイバルだ。ウクライナ人には平和な生活はありませんでした。ウクライナは独立したという期間が本当に短くて、ポーランドに攻められたり、第二次大戦中はドイツに攻められたり、そうかと思えばソ連に併合され、ソ連が崩壊したあと少しの間だけ独立したけど、今回

またこんな侵攻を受けています。少し少しいただけ楽になったから少し少しいただけ楽になったからまた何か起こります。そんな歴史をウクライナは背負っているのです。成長しようとして頑張ったけど、どっかが攻めてきて破壊されて、だからウクライナには成長する時間がないと言えます。ウクライナは広大な農地もあり土地も肥沃で資源もあります。ヨーロッパのセンターだから、そこで戦争になる機会が多いでしょう。

ロシアはいま海を取りたい(と考えている)。そうなるのと私たちは生活できません。海もない、何もなし。戦争でたくさんの方が亡くなりました。

### 築けない自分の未来

ウクライナからは私もそうですが、明日どうなるかわからない、それが一番大変です。自分の生活、自分の未来が築けません。私の弟や同じような若い人が無事に帰ってこられるでしょうか、いつ再会できるでしょうか、私にはわかりません。弟は子どもの頃から料理が得意で、5年前に仕事を辞めてレストランで働いていました。シェフの仕事が大好きで、どうしたら綺麗でおいしくできるか考えて料理するようになります。9ヶ月の娘がいます。でも、戦争に行つたので、一緒に遊ぶこともできないし、その子の成長過程を見ることもできません。

### 知ってほしい ウクライナのこと

私には心配なことがありません。日本に来て外国人や日本人と話をすると、ウクライナのことを誰も知らないのです。「ロシアなの」とか、「南アメリカにあるの」とか、おっしゃる方もいます。私は7年前にここに来てから、ウクライナのことを知らせたかったです。ウクライナの文化はすごくアメリカンで、綺麗です、古いんです。ウクライナはロシアではないんです。ウクライナには自分の国の歴史がたくさんあります。でも誰も知らないから、私の心は少し痛みます。

ウクライナはヨーロッパで一番大きな国です。海もあるし、山もあるし、平野もあります。そしてヨーロッパ、ロシア、アジアの国々からの道がクロスするハイポテンシャルな地域です。だからロシアはウクライナを取りたいでしょう。

いろんなところでお話をさせていただったり、北栄町図書館でウクライナ展を開催させていただったり、私はとても心が安まりました、とてもうれしかったです。もちろん戦争のことも知っていただきたいのですが、ウクライナの歴史や文化を知っていただきたい、ウクライナの美しさを知っていただきたいのです。



そうすれば、みなさんが、この綺麗な国が今なくなってしまうんだと気づいてくださると思います。

### 平和の大切さを学び 平和であることに感謝

平和のために頑張らなければなりません。戦争にならないように、世界が平和になるために。戦争は一番ダメ、戦争はすべてを破壊します。今のウクライナの状況を見て、平和の大切さを世界中の人が学ばないといけません。戦争が悪いということはみなさんわかります。でも遠い国のこととしてあまり考えません。私の国が侵略を受けたとき、私は気づきました。だから、いま平和であることにすごく感謝しています。

どうして私は日本に来たのだろうか、どうしてウクライナに留まっていたのだろうか、ここに居ながらウクライナのために何が出来るのだろうか、ここで考えてしまいませんか。日本で経験したことをウクライナに帰って広げる事も私の役目かなと思っています。ウクライナの人達は、日本がどういう形で自分たちを助けてくれているのかというのを知っています。大変感謝しています。人という字がお互いを支え合っているように、日本人はお互いを気遣う文化を持っています。ウクライナにもそのことを伝えたい

といけないと思つています。平和な時代に感謝しないといけないです。お互いサポートし合つて平和を守らないといけないです。当たり前のことに感謝する、何でも無いことがありがたいことだつていうことを案外忘れてしまつて、ウクライナだけでなく、どこでも平和な時代がほしいです。最後になりましたが、鳥取県、北栄町、商工会女性部をはじめ、多くのみなさんにサポートしていただいています。ありがとうございます、とても感謝しています。

#### (後記)

マリナさんは、「北条ワイン醸造所」専務の妻。同ワインは、売り上げの一部をウクライナ支援に充てるワインを販売しています。詳しくは同社ホームページをご覧ください。



写真や衣装が展示された「ウクライナを知らう展」11月27日、北栄町

## 伊藤千代子の生涯(わが青春つきるとも)上映会

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟鳥取県本部  
会長 竹中 寿健

コロナ禍の中、鳥取市のとろぎん文化会館において開催した「伊藤千代子の生涯」に、多くのみなさんに足を運んでいただき、ありがとうございます。約80件のアンケートが寄せられました。貴重なご意見ありがとうございます。このご意見を何らかの形でお知らせできればと思つています。また、みなさんからのご要望もありますので、2回目の上映会を(西部地域で)計画したいと思つています。

ご承知のように、戦前の天皇制政治のもとで、主権在民を主張し、侵略戦争に反対したため、治安維持法で弾圧された多くの国民が犠牲となりました。その一人が伊藤千代子です。1925年に制定されたから廃止されるまでの20年間に、逮捕者10万人、獄死者は400人余にのぼつています。ポツダム宣言を受諾し、政治的自由への弾圧と人道に反する悪法であるとして廃止されました。世界では、ドイツを始め主要な国々では、弾圧の犠牲者への謝罪と賠償がすすんでいます。日本では、犠牲者に対して謝罪も賠償もしていません。私たちが治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟は、「ふたたび戦争と暗黒政治を許さない」ために、国に対して、1. 治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること。2. 治安維持法犠牲者に謝罪し、賠償を行うこと。3. 治安維持法による犠牲の実態を調査し、その内容を公表すること。を要求し、実現のために運動を進めています。毎年みなさんの協力で、現在までに全国で約一千万筆の国会請願署名(黄色い署名)を集め、「国家賠償法」の制定を求めています。また、全国の500近い議会から、国に対して「国家賠償法制定を求め」意見書が提出されています。しかし、いまだに実現していません。実現するまで頑張り続けたいと思いますので、引き続きご支援をよろしくお願いいたします。最後に、ロシアのウクライナ侵略に対して、岸田首相はウクライナへの支援を表明しましたが、侵略戦争を利用して日米同盟の更なる強化をかけた。また、安倍、菅元首相らは、憲法9条の改定や敵基地攻撃論、核共有論を声高に叫ぶなど、危険な言動が聞かれます。私たちは「ふたたび戦争と暗黒政治を許さない」ためにも、この夏の参院選で革新野党を躍進させ、要求実現のために頑張り続けたいと思つています。



### 三朝町議会 全会一致で採択

「ロシアによるウクライナ侵略」を非難する決議

三朝革新懇は3月14日の定例会で、三朝町議会に「ロシアによるウクライナ侵略を非難する決議」をあげてもらふことと、「憲法改悪を許さない全国署名」を100筆集めることを決めました。

県下で「決議」未採択の自治体は、三朝・智頭・江府と聞き、「これはほつとけない事態」と確認しました。早速議会事務局に議事日程を聞くこと、「18日の本会議が勝負です」とのこと、F議員宅を訪問し、三朝革新懇のことを説明して「決議」案を議員提案されるよう要請し懇談しました。「自分は議事運営委員長。議会事務局からも連絡があり、17日に議運を開き本件に対する取り組みを決定する」

このことでした。17日夕方にF議員から「明日の本会議で可決することになった」との朗報が入りました。本会議に傍聴に行き、全会一致で可決されたのを確認しました。他町村議員の作成した依頼文・決議案を参考に、わずか三日の取り組みでしたが、頑張った甲斐があったし、会としても今後の運動の自信と励みになりました。

ある先輩にこの取り組みを話すと、「これで保守の牙城も破けたか」と感慨深げに話されたのが忘れられません。署名は1人10筆が目標。会員は署名用紙を持って一軒一軒回つて署名をお願いしました。また、三朝小学校と中学校の教職員組合、三朝町職にも出向いて署名をお願いしました。ある分会長は「校長と相談して取り組み」と言われびつくり。署名は初めてだからと言われるので仕方ありません。署名の集め方から説明しました。当人は頑張つて「少ないですけど」と言い、5筆集めてくれました。これもうれしい取り組みになりました。5月19日現在三朝革新懇64筆、県革新懇58筆、中部9条の会43筆、合計165筆を集め提出しました。三朝革新懇は高齢者が多い会ですが、今後とも革新三目標を踏まえた学習・運動に取り組みたいと思つています。